

# 地域メッシュ統計

## I 地域メッシュ統計の概要

地域メッシュ統計とは、緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目（Mesh）の区域に分けて、約 500m四方に区切ったそれぞれの区域に関する統計データを編成したものである。この手法によれば、地域の実態をより詳細に、かつ同一の基準で把握することができるため、都市計画や地域開発、防災・環境計画、公害対策、市場・商圈分析、学術研究等広範な分野で利用されている。

このように作成した地域メッシュ統計には、次のような利点がある。

- (1) ほぼ同一の大きさ、形状で区分されているので、地域メッシュ相互間の事象の計量的比較が容易である。
- (2) その位置や区画が固定されていることから、区域の境界変更や地形、地物の変化による影響を受けることがなく、地域事象の時系列比較が容易である。
- (3) その地域内のメッシュのデータを合算することにより、必要な地域のデータが容易に入手できる。
- (4) ほぼ正方形の形状であることから、位置の表示が簡便にでき、距離に関する分析、計算、比較が容易である。

一方、地域メッシュ統計の作成については技術的な難しさがある。地域メッシュは緯度・経度によって区切られているが、通常、統計データは不規則な形状・面積の地域単位（調査区）で調査され、集計されている。したがって、このようなデータを地域メッシュの区画に組み替える（以下この組み替えを「同定」という。）際、組み替え方法によっては精度が低下するおそれがある。

本市では、昭和 45 年～平成 12 年の国勢調査において、独自に地域メッシュ統計の組み替え作業を行ってきましたが、平成 17 年については同定作業を総務省統計局が全国统一の方法で行っており、今回はその集計結果から本市の状況をまとめたものである。

## II 地域メッシュの区画方法

総務省統計局を始め、国の行政機関の作成する地域メッシュ統計の主なものは、「統計に用いる標準地域メッシュ・コード」（昭和 48 年 7 月 12 日行政管理庁告示第 143 号）を使用して作成されており、本報告もこれを用いている。

なお、従来、緯度・経度は「日本測地系」に基づいて表示されていたが、測量法の改正により平成 14 年 4 月 1 日以降、「世界測地系」に基づき表示することになった。これに伴い、標準地域メッシュの位置も移動している。

本市では平成 12 年まで「日本測地系」に基づく緯度・経度により区画した標準地域メッシュ及び標準地域メッシュ・コードを用いて集計を行ってきたが、17 年については総務省統計局が「世界測地系」でのデータを平成 7 年まで遡及して提供しているため、時系列での比較は平成 7 年、12 年及び 17 年の 3 時点の時系列比較が可能である。  
(測量法改正の詳細は 4 ページに掲載)

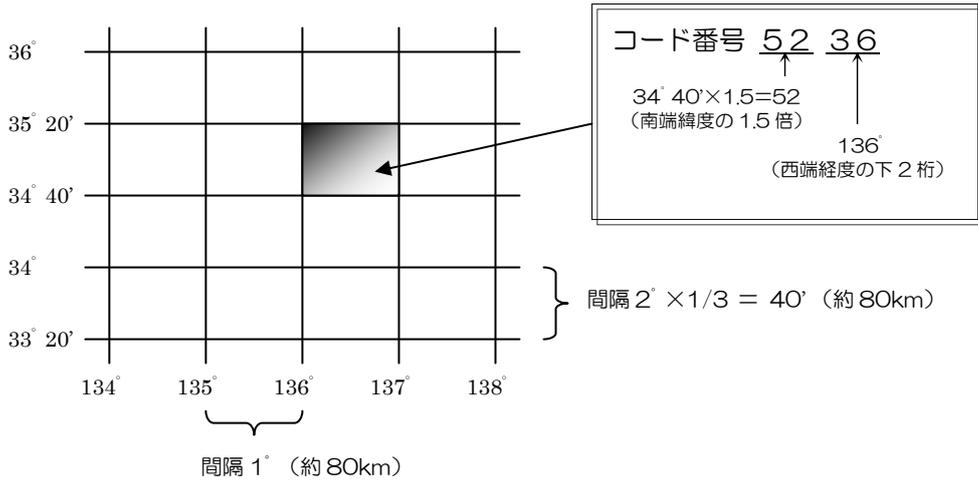
## III 経緯度法による地域メッシュの画定方法

### 1 第 1 次地域区画

第 1 次地域区画は、全国の地域を偶数緯度及びその間隔を 3 等分した緯度並びに 1 度ごとの経線とによって縦横に分割した区域（約 80km×80km）で、緯度は 40 分間隔、経度は 1 度間隔となる。なお、この区域は、20 万分の 1 の地勢図（国土地理院発行）の 1 図葉の区画に相当している。

第 1 次地域区画の地域メッシュ・コードは 4 桁からなり、その上 2 桁は区画の南端緯度を 1.5 倍した値、その下 2 桁は西端緯度の下 2 桁の数字と同じ値として定義されている。  
〔図 1〕

図1 第1次地域区画の地域メッシュ・コード番号

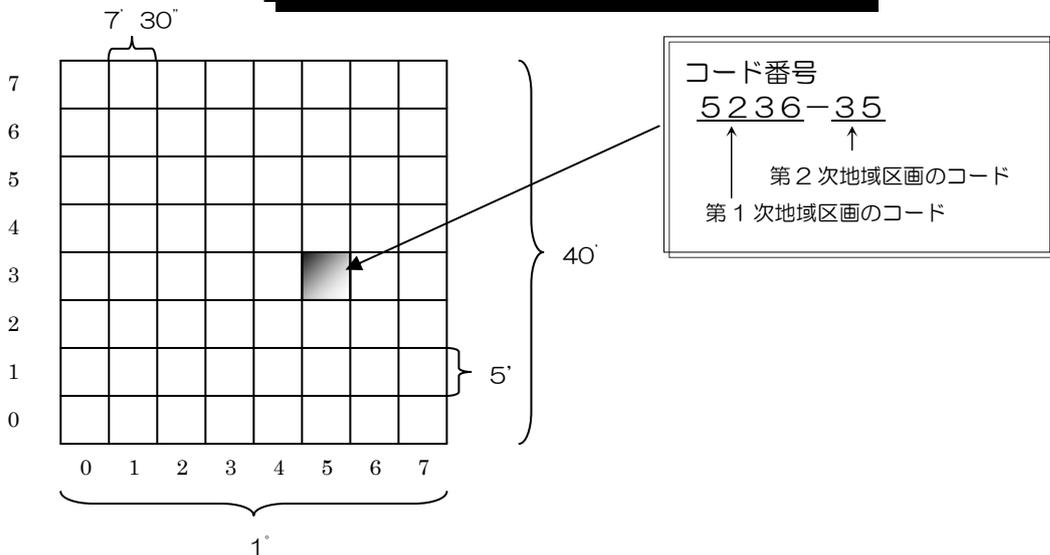


## 2 第2次地域区画（10倍地域メッシュ）

第2次地域区画は、第1次地域区画の縦横をそれぞれ8等分した区画（約10km×10km）で、緯度は5分間隔、経度は7分30秒間隔となる。なお、この区域は、2万5千分の1の地形図（国土地理院発行）の1図葉の区画に相当している。

第2次地域区画の地域メッシュ・コードは2桁からなり、経線（縦線）方向については南（下）から、緯線（横線）方向については西（左）から、それぞれ0から7までの数字を付し、これを経線方向、緯線方向の順に組合せた数字としており、コードの5、6桁目に当たる。〔図2〕

図2 第2次地域区画の地域メッシュ・コード番号

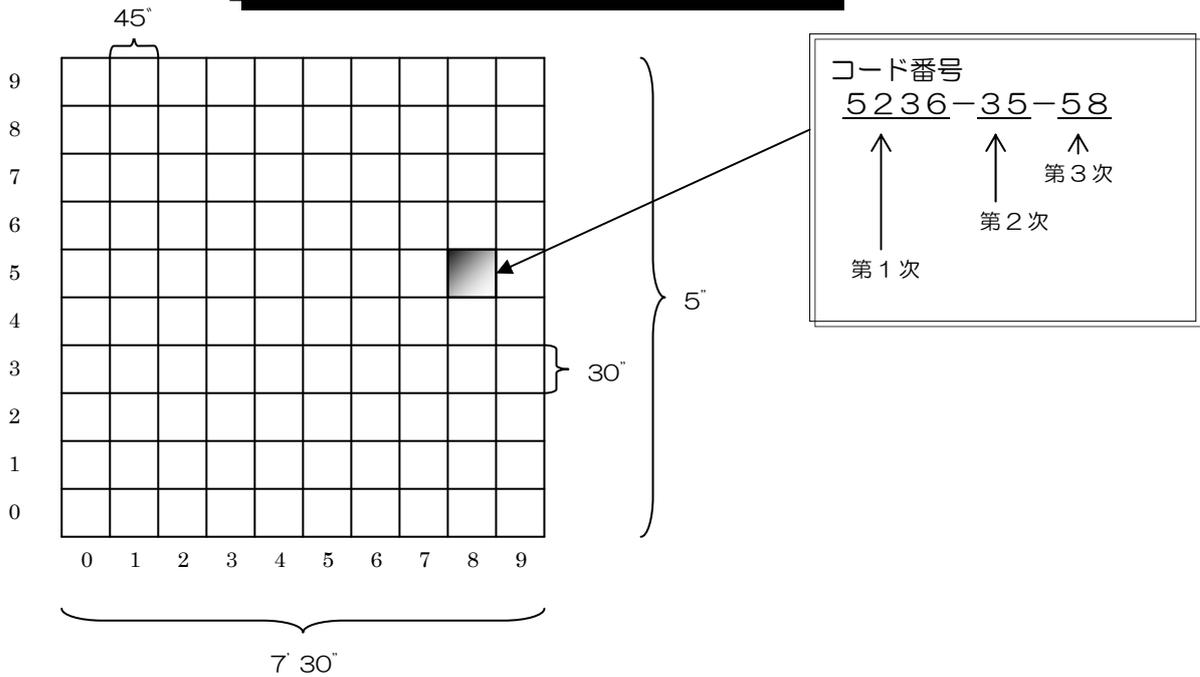


## 3 第3次地域区画（基準地域メッシュ）

第3次地域区画は、第2次地域区画の縦横をそれぞれ10等分した区画（約1km×1km）で緯度は30秒間隔、経度は45秒間隔となる。

第3次地域区画の地域メッシュ・コードも2桁からなり、経線方向については南から、緯線方向については西から、それぞれ0から9までの数字を付し、これを経線方向、緯線方向の順に組合せた数字としており、コードの7、8桁目に当たる。〔図3〕

図3 第3次地域区画の地域メッシュ・コード番号

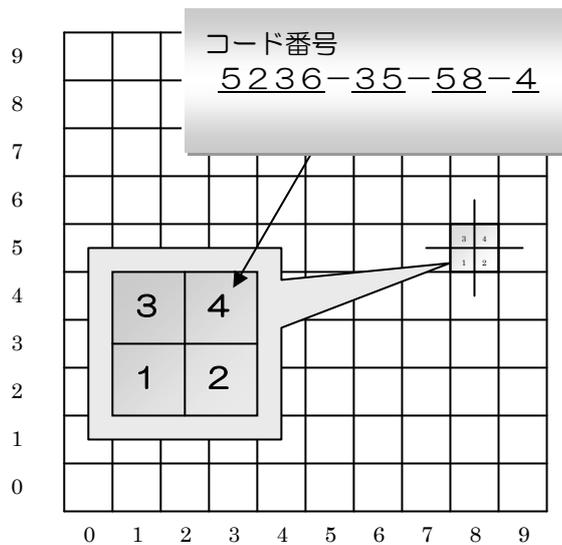


#### 4 分割地域メッシュ (2分の1 地域メッシュ)

分割地域メッシュは、基準地域メッシュを経線方向及び緯線方向に2等分した区画(約500m×500m)で緯度は15秒間隔、経度は22.5秒間隔となる。

分割地域メッシュ・コードは1桁からなり、分割された各区画の南西側、南東側、北西側、北東側の順にそれぞれ1から4までの数字を付し、これを基準地域メッシュ・コードの次に加えた、9桁の数字によって、全体のメッシュ・コードを表章する。 [図4]

図4 分割地域区画の地域メッシュ・コード番号



経線の間隔は北になるほど狭くなるため、分割地域メッシュの大きさもそれとともに小さくなる。本市の分割地域メッシュの大きさは、

(東西方向) (南北方向)

(1) 最小メッシュ 568.7m×462.3m (26.29 ha)

(2) 最大メッシュ 570.3m×462.3m (26.36 ha)

で、その差は0.3%弱とほぼ等積であるといえる。

このようにして定められた地域メッシュ・コードによれば、名古屋市役所と16区役所は概ね次のメッシュに画定される。 [付表1]

付表1 市役所及び区役所の地域メッシュ・コード

市・区役所	第1次 地域区画	第2次 地域区画	第3次 地域区画	分割地域 メッシュ
名古屋市役所	5236	67	12	4
千種区役所	5236	57	95	4
東区役所	5236	67	14	3
北区役所	5236	67	32	2
西区役所	5236	67	20	2
中村区役所	5236	66	09	2
中区役所	5236	67	02	2
昭和区役所	5236	57	84	2
瑞穂区役所	5236	57	54	4
熱田区役所	5236	57	52	2
中川区役所	5236	56	68	3
港区役所	5236	57	20	4
南区役所	5236	57	14	1
守山区役所	5236	67	48	1
緑区役所	5236	47	86	1
名東区役所	5237	60	10	2
天白区役所	5236	57	48	3

#### (参考1) 日本測地系と世界測地系について

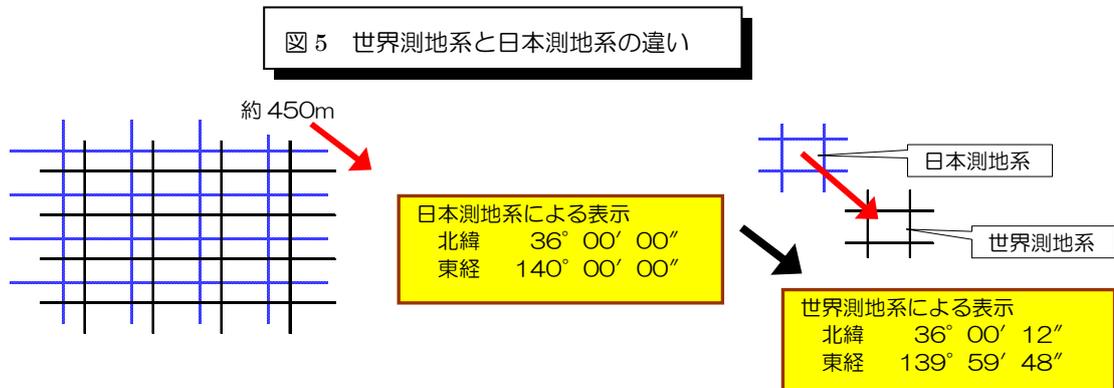
日本測地系は、明治時代に日本が採用した測量系であり、その際、基準とする地球の形態を「ベッセル楕円体」と見立て、東京都港区麻布台2丁目18番1地区を日本経緯度原点（東経139度44分40秒5020、北緯35度39分17秒5148）を日本経緯度原点と定め、それぞれの緯度・経度を求めていた。

しかし、当時は国によって基準とする楕円体が違っており（ヨーロッパ、南米各国では「国際楕円体」、アメリカでは「クラーク楕円体」、各国の作成する地図の緯度経度はばらばらだった。

世界測地系は、ばらばらであった経緯度を1980年に定められた「GRS80楕円体」を統一の基準とすることに決まったもので、結果として日本測地系と比較して、経緯線が南東方向へ450m移動することとなる。

日本では平成13年6月1日に測量法が改正され、測量法で規定されている「測量の基準」が、『日本測地系』から世界標準である『世界測地系』に変更された（平成14年4月1日施行）。このため、前述の日本経緯度原点は、東経139度44分28秒8759、北緯35度39分29秒1572となり、従来の緯度・経度と比べて緯度で約+12秒、経度で約-12秒（緯線は南、経線は東に移動）の差が生じている。（この差は、地域によって若干の差がある。）

〔図5〕



**（参考2） 名古屋市が含まれる地勢図及び地形図（国土地理院発行）について**

(1) 第1次地域区画

（メッシュ・コードの最初の4桁が該当）

20万分の1の地勢図（国土地理院発行）1図葉に相当しており、本市の大部分が5236（20万分の1の地勢図「名古屋」）で、東部丘陵地帯の一部が5237（同地勢図「豊橋」）に含まれている。

(2) 第2次地域区画

（メッシュ・コードの最初の6桁が該当）

2万5千分の1の地形図（国土地理院発行）1図葉に相当しており、本市は2万5千分の1の地形図による次の10の第2次地域区画に含まれている。

《名古屋市が該当している2万5千分の1地形図》

- ・ 5236-46「飛島」
- ・ 5236-47「鳴海」
- ・ 5236-56「蟹江」
- ・ 5236-57「名古屋南部」
- ・ 5236-66「清洲」
- ・ 5236-67「名古屋北部」
- ・ 5237-40「知立」
- ・ 5237-50「平針」
- ・ 5237-60「瀬戸」
- ・ 5237-70「高蔵寺」

#### IV 利用上の注意

##### 1 同定方法の前回との違いについて

平成 12 年までの本市の同定作業については、本市域に限定した世帯・人口のデータを、各メッシュ区画に対応させており、「他市町村との境界に位置するメッシュ区画」については「本市の世帯・人口のデータのみ」を、また「市内の各区の境界に位置するメッシュ区画」については、「各区に分割したそれぞれの世帯・人口データの割り当て」を行っていた。

一方、平成 17 年の総務省統計局による同定作業については、地域メッシュ本来の目的に従い、各市町村及び各区の境界に左右されることなく、全国一律の方法で割り当てを行っている。（同定方法の詳細については、総務省統計局のホームページ『総務省統計局における地域メッシュ統計作成の概要』をご参照ください。）

このため、前回までの地域メッシュとは、以下の点で異なっている。

- (1) 今回集計した地域メッシュについては、本市域に隣接する市町村のデータの一部を含んだものとなっている。そのため、全メッシュの合計等による数値については、他に公表されている本市の各数値とは一致しない。
- (2) 前回までは、一部について各区ごとの数値を集計していたが、今回は複数区のデータを含むメッシュ区画のデータを各区の数値に同定できないため、集計を行っていない。

##### 2 秘匿・合算された地域メッシュについて

平成 12 年までについては、本市において同定作業を行っていたため、各メッシュ区画の数値については全て数値を特定しており、そのまま公表した場合に特定の世帯等が明らかになる場合には、必要に応じて当該地域のデータを隣接する他の地域に合算することにより秘匿を行っていた。

一方、平成 17 年については、同作業については総務省統計局で行われており、当該地域については「世帯総数」及び「男女別人口総数」等の秘匿されない事項以外の数値については、あらかじめ秘匿・合算されたデータとして提供され、本市ではそれらのデータをもとに、今回の集計作業を行っている。

そのため、秘匿項目にかかる合計値、平均値、各階層別の値及び標準偏差等については、原データが特定できないため、秘匿・合算された各メッシュの値を除外した数値をもとに算出・表示している。

付表 2 秘匿・合算されている地域メッシュ一覧（第 2 次地域メッシュ区画の 1/25000 地形図名別）

飛鳥		鳴海		名古屋南部	
秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号
5236-46-57-1	→ 5236-46-74-3(*)	5236-47-65-2	→ 5236-47-65-4	5236-57-00-4	→ 5236-57-10-1
5236-46-69-2	→ 5236-46-88-3	5236-47-80-2	→ 5236-47-81-3	5236-57-11-2	→ 5236-57-11-4
5236-46-96-4	→ 5236-46-95-2(*)	5236-47-91-1	→ 5236-47-91-4	5236-57-88-3	→ 5236-57-88-1
5236-46-99-3	→ 5236-46-98-4	5236-47-92-3	→ 5236-47-92-4		
蟹江		清洲		名古屋北部	
秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号
5236-56-05-3	→ 5236-56-05-4	5236-66-17-4	→ 5236-66-17-3(*)	5236-67-08-2	→ 5236-67-08-4
5236-56-07-1	→ 5236-56-07-3			5236-67-12-3	→ 5236-67-12-4
5236-56-14-2	→ 5236-56-14-1	平針		瀬戸	
5236-56-15-1	→ 5236-56-15-3	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号	秘匿されているメッシュコード番号	合算先のメッシュコード番号
5236-56-15-2	→ 5236-56-15-4	5237-50-70-2	→ 5237-50-70-3	5237-60-70-1	→ 5237-60-70-3
5236-56-23-2	→ 5236-56-23-4			5237-60-71-4	→ 5237-60-71-3

(\*については本市域外)

### 3 地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線の沿線メッシュの同定について

地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線の沿線については、本市において次のように同定作業を行っている。  
(ただし、測地系の変更に伴い、新たに同定作業を行っているため、前回の数値とは一致しない。)

(1)「中心メッシュ」の定義は以下のとおりとした。

ア 各駅の所在地を含むメッシュ。ただし、所在地が 2 以上のメッシュにかかる場合は、主要となるどちらか一方とした。

イ 「ア」以外で各線の軌道が東西または南北の対辺を同時に横切るメッシュ、又は軌道がほぼ中心点を通り、2 つ以上の辺を横切るメッシュ。

ウ 軌道が 2 つのメッシュのほぼ境界上を通過する場合は、主要となるどちらかの一方のメッシュ。ただし、一方が「ア」「イ」の中心メッシュとなっている場合は他方を中心メッシュとした。

エ 「イ」「ウ」以外であって、軌道の一部が通過し、その東西南北に他の中心メッシュがないメッシュ。

(2)「近隣メッシュ」は、各「中心メッシュ」の東西南北に隣接するメッシュとした。

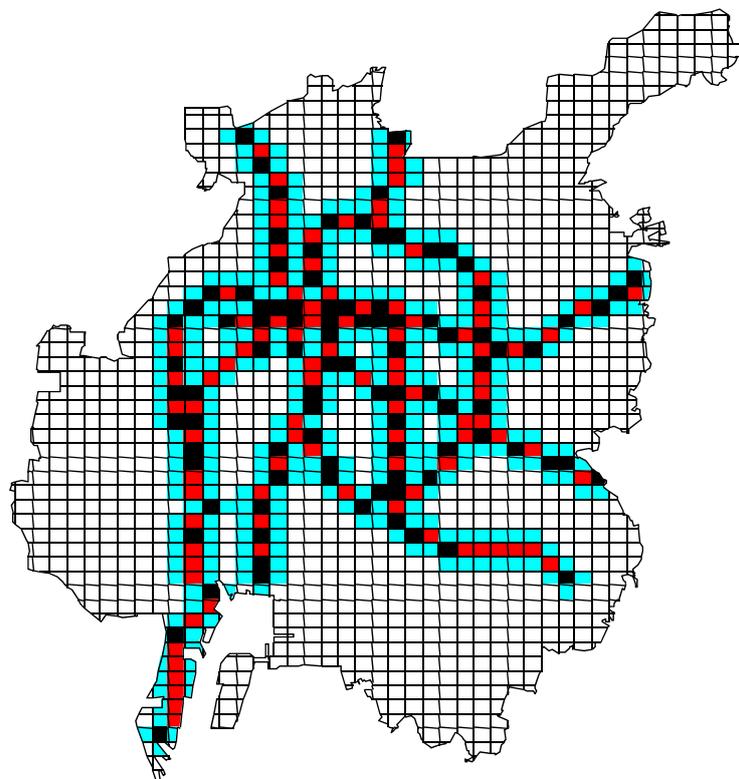
(3)「沿線人口」とは、①及び②のメッシュ上の人口とし、以下のように集計した。

ア 「沿線人口の総計」については、①及び②のメッシュ上の人口を重複せずに合計した。

イ 「各線の沿線人口」については、複数線の「中心メッシュ」又は「近隣メッシュ」となっている場合は、それぞれの沿線人口に重複して合計した。

ウ 「各駅・軌道の各地点の沿線人口」については、各地点ごとに当該「中心メッシュ」及び「近隣メッシュ」を重複して合計した。

図 6 地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線の沿線人口のメッシュ配置図



- 地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線停車駅
- 地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線軌道
- 地下鉄線、上飯田連絡線及びあおなみ線周辺

#### 4 地域メッシュの電子データの提供について

平成 17 年の地域メッシュについては、「別表 1」に掲げるデータが集計され、総務省統計局より提供されている。ただし、前回までは当課において独自に同定・集計作業をおこなっていたため、当該原データについても（秘匿が必要な箇所を除き）、Web 上で公表していたが、今回データについては、当課において当該地域メッシュ統計として加工し公表すること以外について、そのままのデータの形で提供することはできないこととされている。

ただし、別添「メッシュ統計結果表」のような、メッシュ地図上にデータを配置した形に加工した上での提供は認められているため、「別表 1」に掲げるデータで、当該報告書及び Web 上に掲載されていない入手を希望される場合は下記連絡先までお申し出ください。また、「別表 1」中、「\*」を付したデータについては、「世界測地系」に基づいた、平成 7 年及び 12 年のデータも提供が可能である。

名古屋市総務局企画部統計課 場所 名古屋市中区三の丸 3-1-1（本庁舎 4 階北）  
電話 (052) 972-2254  
FAX (052) 972-4114  
メールアドレス a2251@somu.city.nagoya.lg.jp

なお、「原データ」につきましては、総務省統計図書館（東京都新宿区若松町 19-1 総務省統計局 1 階 電話 03-5273-1132）でのみ、CD-R(DVD)又はマイクロフィルムの結果表の閲覧が可能なので、必要のある場合は直接お尋ねください。

別表1 「平成17年国勢調査 地域メッシュ統計」集計項目

「第1次基本集計」に係る項目	区分			「第2次基本集計」に係る項目	区分		
	A	B	C		A	B	C
*人口<年齢不詳を含む>(総数、男、女)	◎	●	●	労働力人口(総数、男、女)			
年齢別人口(総数、男、女) (注)			●	*就業者(総数、男、女)	◎	●	
*年少(0~14歳)人口(総数、男、女)	●	●	●	完全失業者(総数、男、女)			
*生産年齢(15~64歳)人口(総数、男、女)	●	●	●	非労働力人口(総数、男、女)			
*老年(65歳以上)人口(総数、男、女)	●	●	●	就業時間35時間未満就業者数(総数、男、女)			
後期老年(75歳以上)人口(総数、男、女)	●	●	●	//35時間以上就業者数(総数、男、女)			
外国人人口(総数、男、女)		●		//35時間未満雇用者数<役員を含む>(総数、男、女)			
*世帯数<世帯の種類「不詳」を含む>	○	○	○	//35時間以上雇用者数<役員を含む>(総数、男、女)			
*一般世帯数				雇用者数<役員を含む>(総数、男、女)			
*1人世帯数	○	○	○	常雇(総数、男、女)			
2人世帯数				臨時雇(総数、男、女)			
3人世帯数				自営業主<家庭内職者を含む>(総数、男、女)			
4人世帯数				家族従業者(総数、男、女)			
5人世帯数				第1次産業就業者数(総数、男、女)			
6人世帯数				農業就業者数(総数、男、女)			●
7人以上世帯数				林業就業者数(総数、男、女)			●
親族世帯数				漁業就業者数(総数、男、女)			●
*核家族世帯数	○	○	○	*第2次産業就業者数(総数、男、女)	●		
その他の親族世帯数				鉱業就業者数(総数、男、女)			●
6歳未満の親族のいる一般世帯数	○			建設業就業者数(総数、男、女)			●
65歳以上の親族のいる一般世帯数	○			製造業就業者数(総数、男、女)		●	●
世帯主の年齢が20~29歳の1人世帯数	○			*第3次産業就業者数(総数、男、女)	●		
高齢単身世帯数	○	○		電気・ガス・熱供給・水道業就業者数(総数、男、女)			●
高齢夫婦世帯数				情報通信業就業者数(総数、男、女)			●
*住宅に住む一般世帯数				運輸業就業者数(総数、男、女)			●
*持ち家世帯数	○	○	○	卸売・小売業就業者数(総数、男、女)		●	●
*公営・都市機構・公社の借家世帯数				金融・保険業就業者数(総数、男、女)			●
*民営の借家世帯数				不動産業就業者数(総数、男、女)			●
*給与住宅世帯数	○	○	○	飲食店、宿泊業就業者数(総数、男、女)			●
*間借り世帯数				医療、福祉就業者数(総数、男、女)			●
*一戸建世帯数	○	○	○	教育、学習支援業就業者数(総数、男、女)			●
*長屋建世帯数				複合サービス事業就業者数(総数、男、女)			●
*共同住宅世帯数	○	○	○	サービス業<他に分類されないもの>就業者数(総数、男、女)			●
1・2階建共同住宅世帯数				公務<他に分類されないもの>就業者数(総数、男、女)			●
3~5階建共同住宅世帯数							
6~10階建共同住宅世帯数							
11階以上建共同住宅世帯数							
1・2階に住む共同住宅世帯数							
3~5階に住む共同住宅世帯数							
6~10階に住む共同住宅世帯数							
11階以上に住む共同住宅世帯数							
住宅の延べ面積が0~29㎡の世帯数							
住宅の延べ面積が30~49㎡の世帯数							
住宅の延べ面積が50~69㎡の世帯数							
住宅の延べ面積が70~99㎡の世帯数							
住宅の延べ面積が100~149㎡の世帯数							
住宅の延べ面積が150㎡以上の世帯数							
平均年齢(総数)							
年齢中位数(総数)							
一般世帯の世帯人員		○					
住宅に住む一般世帯の総延べ面積		○					
住宅に住む一般世帯人員							

区分の説明

- A: 「メッシュ統計結果表」を掲載しているもの(◎男女別に掲載、●総数のみ掲載、○世帯数等を記載、以下同じ)
- B: 「メッシュ階級マップ」を掲載しているもの(実数ではなく比率を掲載している場合も含む)
- C: その他、本文中で分析等を掲載しているもの。

(注1) 年齢別人口については、「0~84歳までの5歳階級別」「0~2歳」「0~5歳」「3~5歳」「6~11歳」「12~14歳」「15~17歳」「18歳」「19歳」「20歳以上」「85歳以上」の数値が集計されている。

(注2) 「\*」を付したものについては、平成7年及び12年のデータあり。

別表2 メッシュ統計度数分布表 I

人口総数		男		女		性 比 〈女性人口がゼロのものを除く〉		人口増加数（12～17年）	
平均	1,621	平均	805	平均	816	平均	101.1	平均	35
標準偏差	1,121	標準偏差	553	標準偏差	571	標準偏差	22.5	標準偏差	188
総メッシュ数	1,428	総メッシュ数	1,428	総メッシュ数	1,428	総メッシュ数	1,291	総メッシュ数	1,428
(階級)		(階級)		(階級)		(階級)		(階級)	
0	134	0	134	0	137	～ 50.00	8	～ -501	4
1～ 500	185	1～ 250	194	1～ 250	185	50.01～ 55.00	2	-500～ -401	5
501～1000	161	251～ 500	149	251～ 500	160	55.01～ 60.00	4	-400～ -301	17
1001～1500	155	501～ 750	162	501～ 750	158	60.01～ 65.00	1	-300～ -201	50
1501～2000	225	751～1000	218	751～1000	221	65.01～ 70.00	3	-200～ -101	173
2001～2500	212	1001～1250	227	1001～1250	221	70.01～ 75.00	4	-100～ -1	361
2501～3000	192	1251～1500	190	1251～1500	170	75.01～ 80.00	12	0	135
3001～3500	108	1501～1750	105	1501～1750	111	80.01～ 85.00	33	1～ 100	329
3501～4000	41	1751～2000	35	1751～2000	46	85.01～ 90.00	98	101～ 200	164
4001～4500	7	2001～2250	8	2001～2250	11	90.01～ 95.00	231	201～ 300	80
4501～5000	6	2251～2500	5	2251～2500	6	95.01～100.00	324	301～ 400	44
5001～5500	1	2501～2750	1	2501～2750	1	100.01～105.00	258	401～ 500	27
5501～6000	1			2751～3000	1	105.01～110.00	152	501～ 600	12
						110.01～115.00	52	601～ 700	12
						115.01～120.00	38	701～ 800	8
						120.01～125.00	20	801～ 900	2
						125.01～130.00	12	901～ 1000	3
						130.01～135.00	7	1001～	2
						135.01～140.00	2		
						140.01～145.00	4		
						145.01～150.00	4		
						150.01～200.00	17		
						200.01～	5		
人口増加率（12～17年） 〈12年人口がゼロのものを除く〉		年 少 人 口		生 産 年 齢 人 口		老 年 人 口		後 期 老 年 人 口	
平均	8.7	平均	245	平均	1,241	平均	337	平均	141
標準偏差	112.9	標準偏差	145	標準偏差	695	標準偏差	224	標準偏差	103
総メッシュ数	1,284	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,251
(階級)		(階級)		(階級)		(階級)		(階級)	
-100.00～-90.01	6	0	5	0	0	0	1	0	7
-90.00～-80.01	2	1～ 50	131	1～ 250	123	1～ 50	101	1～ 25	130
-80.00～-70.01	2	51～ 100	107	251～ 500	103	51～ 100	95	26～ 50	141
-70.00～-60.01	3	101～ 150	102	501～ 750	109	101～ 150	101	51～ 75	129
-60.00～-50.01	3	151～ 200	140	751～1000	134	151～ 200	109	76～ 100	112
-50.00～-40.01	4	201～ 250	167	1001～1250	156	201～ 250	97	101～ 125	128
-40.00～-30.01	9	251～ 300	171	1251～1500	155	251～ 300	113	126～ 150	111
-30.00～-20.01	21	301～ 350	153	1501～1750	150	301～ 350	115	151～ 175	90
-20.00～-10.01	77	351～ 400	114	1751～2000	145	351～ 400	89	176～ 200	83
-10.00～ -0.01	483	401～ 450	65	2001～2250	98	401～ 450	77	201～ 225	53
0.00	5	451～ 500	33	2251～2500	44	451～ 500	67	226～ 250	55
0.01～ 10.00	384	501～ 550	26	2501～2750	16	501～ 550	54	251～ 275	59
10.01～ 20.00	140	551～ 600	16	2751～3000	10	551～ 600	52	276～ 300	41
20.01～ 30.00	62	601～ 650	11	3001～3250	4	601～ 650	42	301～ 325	38
30.01～ 40.00	22	651～ 700	8	3251～3500	2	651～ 700	42	326～ 350	30
40.01～ 50.00	20	701～ 750	1	3501～3750	1	701～ 750	32	351～ 375	16
50.01～ 60.00	7	751～ 800	1	3751～4000	0	751～ 800	21	376～ 400	10
60.01～ 70.00	6			4001～4250	1	801～ 850	19	401～ 425	7
70.01～ 80.00	6					851～ 900	10	426～ 450	4
80.01～ 90.00	5					901～ 950	7	451～ 475	5
90.01～ 100.00	4					951～1000	2	476～ 500	1
100.01～ 150.00	4					1001～1050	3	500～	1
150.01～ 200.00	2					1051～1100	1		
200.01～	7					1101～1150	1		

注) 「人口総数」、「男」、「女」、「世帯数」、「人口増加数」、「人口増加率」以外の項目は、17年人口がゼロ若しくは秘匿・合算されているメッシュをあらかじめ除外しており、この場合、集計対象となるメッシュ数は1251となる。さらに、指標値については分母がゼロのメッシュを除外している。

別表2 メッシュ統計度数分布表 II

世帯数		1世帯当たり人員 〈世帯数がゼロのものを除く〉		単独世帯数		核家族世帯数		持家率〈住宅に住む 一般世帯がゼロのものを除く〉	
平均	696	平均	2.59	平均	281	平均	428	平均	53.9
標準偏差	528	標準偏差	3.04	標準偏差	255	標準偏差	247	標準偏差	19.1
総メッシュ数	1,428	総メッシュ数	1,294	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,249
(階級)		(階級)		(階級)		(階級)		(階級)	
0	134	1.00	3	0	5	0	2	0.00	2
1~ 100	123	1.01~ 1.20	1	1~ 50	179	1~ 100	140	0.01~ 5.00	4
101~ 200	79	1.21~ 1.40	7	51~ 100	143	101~ 200	127	5.01~ 10.00	5
201~ 300	77	1.41~ 1.60	15	101~ 150	153	201~ 300	128	10.01~ 15.00	12
301~ 400	70	1.61~ 1.80	51	151~ 200	125	301~ 400	161	15.01~ 20.00	22
401~ 500	85	1.81~ 2.00	92	201~ 250	115	401~ 500	185	20.01~ 25.00	27
501~ 600	85	2.01~ 2.20	146	251~ 300	95	501~ 600	200	25.01~ 30.00	61
601~ 700	99	2.21~ 2.40	258	301~ 350	55	601~ 700	152	30.01~ 35.00	60
701~ 800	100	2.41~ 2.60	250	351~ 400	77	701~ 800	85	35.01~ 40.00	95
801~ 900	87	2.61~ 2.80	235	401~ 450	46	801~ 900	36	40.01~ 45.00	113
901~ 1000	86	2.81~ 3.00	115	451~ 500	42	901~ 1000	18	45.01~ 50.00	139
1001~ 1100	69	3.01~ 3.20	54	501~ 550	48	1001~ 1100	7	50.01~ 55.00	131
1101~ 1200	67	3.21~ 3.40	25	551~ 600	33	1101~ 1200	3	55.01~ 60.00	143
1201~ 1300	67	3.41~ 3.60	10	601~ 650	24	1201~ 1300	5	60.01~ 65.00	117
1301~ 1400	46	3.61~ 3.80	10	651~ 700	17	1301~ 1400	1	65.01~ 70.00	77
1401~ 1500	45	3.81~ 4.00	2	701~ 750	15	1401~ 1500	0	70.01~ 75.00	72
1501~ 1600	31	4.01~ 4.20	4	751~ 800	19	1501~ 1600	0	75.01~ 80.00	49
1601~ 1700	24	4.21~ 4.40	1	801~ 850	7	1601~ 1700	1	80.01~ 85.00	41
1701~ 1800	18	4.41~ 4.60	2	851~ 900	14			85.01~ 90.00	23
1801~ 1900	15	4.61~ 4.80	1	901~ 950	10			90.01~ 95.00	24
1901~ 2000	7	4.81~ 5.00	2	951~ 1000	3			95.01~ 100.00	32
2001~ 2300	8	5.01~	10	1001~ 1200	18				
2301~ 2600	5			1201~ 1400	6				
2601~ 2900	1			1401~ 1600	2				
一戸建率〈住宅に住む 一般世帯がゼロのものを除く〉	43.2	共同住宅率〈住宅に住む 一般世帯がゼロのものを除く〉	52.9	就 業 率	57.9	第2次産業就業者率 〈就業者がゼロのものを除く〉	27.0	第3次産業就業者率 〈就業者がゼロのものを除く〉	70.3
標準偏差	22.7	標準偏差	23.5	標準偏差	6.5	標準偏差	9.3	標準偏差	9.7
総メッシュ数	1,249	総メッシュ数	1,249	総メッシュ数	1,251	総メッシュ数	1,250	総メッシュ数	1,250
(階級)		(階級)		(階級)		(階級)		(階級)	
0.00	4	0.00	44	0.00	1	0.00	1	0.00	0
0.01~ 5.00	14	0.01~ 5.00	16	0.01~ 5.00	0	0.01~ 5.00	2	0.01~ 5.00	0
5.01~ 10.00	41	5.01~ 10.00	21	5.01~ 10.00	0	5.01~ 10.00	20	5.01~ 10.00	0
10.01~ 15.00	58	10.01~ 15.00	26	10.01~ 15.00	1	10.01~ 15.00	109	10.01~ 15.00	0
15.01~ 20.00	67	15.01~ 20.00	23	15.01~ 20.00	2	15.01~ 20.00	172	15.01~ 20.00	1
20.01~ 25.00	91	20.01~ 25.00	38	20.01~ 25.00	1	20.01~ 25.00	200	20.01~ 25.00	1
25.01~ 30.00	90	25.01~ 30.00	39	25.01~ 30.00	3	25.01~ 30.00	274	25.01~ 30.00	1
30.01~ 35.00	127	30.01~ 35.00	56	30.01~ 35.00	4	30.01~ 35.00	268	30.01~ 35.00	4
35.01~ 40.00	115	35.01~ 40.00	76	35.01~ 40.00	7	35.01~ 40.00	115	35.01~ 40.00	6
40.01~ 45.00	126	40.01~ 45.00	74	40.01~ 45.00	18	40.01~ 45.00	49	40.01~ 45.00	19
45.01~ 50.00	112	45.01~ 50.00	113	45.01~ 50.00	41	45.01~ 50.00	24	45.01~ 50.00	35
50.01~ 55.00	81	50.01~ 55.00	102	50.01~ 55.00	191	50.01~ 55.00	11	50.01~ 55.00	97
55.01~ 60.00	70	55.01~ 60.00	108	55.01~ 60.00	563	55.01~ 60.00	3	55.01~ 60.00	186
60.01~ 65.00	56	60.01~ 65.00	105	60.01~ 65.00	331	60.01~ 65.00	1	60.01~ 65.00	270
65.01~ 70.00	31	65.01~ 70.00	99	65.01~ 70.00	64	65.01~ 70.00	0	65.01~ 70.00	226
70.01~ 75.00	31	70.01~ 75.00	89	70.01~ 75.00	15	70.01~ 75.00	0	70.01~ 75.00	183
75.01~ 80.00	28	75.01~ 80.00	63	75.01~ 80.00	4	75.01~ 80.00	0	75.01~ 80.00	164
80.01~ 85.00	24	80.01~ 85.00	58	80.01~ 85.00	1	80.01~ 85.00	1	80.01~ 85.00	49
85.01~ 90.00	20	85.01~ 90.00	51	85.01~ 90.00	2	85.01~ 90.00	0	85.01~ 90.00	6
90.01~ 95.00	17	90.01~ 95.00	30	90.01~ 95.00	1	90.01~ 95.00	0	90.01~ 95.00	2
95.01~ 100.00	46	95.01~ 100.00	18	95.01~ 100.00	1	95.01~ 100.00	0	95.01~ 100.00	0

注) 「人口総数」、「男」、「女」、「世帯数」、「人口増加数」、「人口増加率」以外の項目は、17年人口がゼロ若しくは秘匿・合算されているメッシュをあらかじめ除外しており、この場合、集計対象となるメッシュ数は1251となる。さらに、指標値については分母がゼロのメッシュを除外している。